



日本共産党港区議会議員 星野たかし

区政報告

No.83
2002年
12月

発行

日本共産党港区議員団
港区芝公園1-5-25
TEL (3578) 2945
FAX (3578) 2947
《連絡先》3449-1202 (星野自宅)
E-Mail: jcp-mkgd@ma.rosenet.ne.jp

星野質問 (仮称) ファミール白金六丁目建設を計画している丸紅は、「計画に文句があるのなら行政に言え」という内容の工事説明会資料を配布し住民に圧力をかけた。決算委員会での質問に対し建築課長は、「説明会資料は条例の趣旨にてらして不適切である」と答弁した。その後の住民代表、区、事業者の三者協議で、この資料は使用しないことに



本会議で質問する星野議員(11月27日)

丸紅の横暴ひど過ぎる

「再度強力に指導する」と区長答弁

白金6丁目高層住宅計画

二〇〇二年港区議会第四回定例会が十一月二十七日から十二月六日まで開かれ、日本共産党議員団は独自に行なった「区民アンケート」などで寄せられた要求実現に全力をあげました。本会議での代表質問には私、星野たかしが、一般質問には熊田ちづ子議員が、区長、教育長、議長に質問しました。質疑の要旨をご報告します。皆様のご意見、ご感想などお寄せいただければ幸いです。

なつた。しかし丸紅は住民側の質問状に対し、同じ主旨の「回答書」を住民側に配布した。丸紅の約束違反が紛争を更に激化させている。回答の再検討も含め今後一切条例の

趣旨に反する対応を行わないよう、再度丸紅に対し強力な指導を行うべきだ。また住民が強く求めている説明会開催日などの事前協議については、今後の話し合いのルールとすることを区として丸紅に指導すべきだ。

区長答弁 事業者の説明態度や説明資料が不適切であるとの指摘を受け事業者を指導した。説明資料も配布し直したと聞いているが再度強く指導する。話し合いのルールについても住民の意向を事業者に十分伝えていく。

星野再質問 丸紅は区の紛争予防条例を根底から覆すことをやっている。一度は正した誤りを再び繰り返している。今後一切やめさせるべきだ。区長再答弁 事業者に対し

計画見直し求める請願 自公などが「継続」に

共産党は採択を主張

四〇七名もの署名とともに区議会に提出された「(仮称)ファミール白金六丁目新築工事について現計画に反対し、見直しを求める請願」が十二月三日の建設委員会で審議され、共産党は採択を主張しましたが、自民、公明、区民クラブが採択に同意せず継続審議となりました。

共産党委員は、「狭い一方通行道路での通行車両の増加、環境悪化、日照、風害等の問題が懸念される。見直しや十分な話し合いが必要」と請願の採択を強く主張しました。

危険冒して歩道無い通り横断 長年の区民要望 天現寺 橋交差点に横断歩道を



歩行者、自転車の交通の「難所」、天現寺橋交差点

区長「関係機関に強く働きかける」

星野質問 地域のみなさんの粘り強い運動で、高輪支所前の国道に待望の横断歩道の設置が決まった。札の辻交差点は、東京都が関係機関と横断歩道の設置について協議中で、二〇〇五年完成をめざしていることが明らかになった。

天現寺橋交差点は、渋谷区側の広尾病院入口前にしか横断歩道がない。危険を冒して広い通りを横断する状況も見られる。

バリアフリー化の促進は国をあげての事業であり、行政の責任だ。横断歩道の設置、歩道橋とエレベーターの併設など、だれもが安全で安心でき便利な道路に改善するため、関係機関へ働きかけるべきだ。

区長答弁 高齢者、身体障害者等の方々にとって横断歩道橋は大変不便であることは承知している。交差点のバリアフリー化を進めるには、横断歩道の設置や横断歩道橋へのエレベーター施設等が必要。関係機関に強く働きかけていく。

区議会を傍聴して

白金六丁目Aさん
十二月三日、提出した請願の審議がどうなるか、建設委員会を傍聴しました。私たちの願いは、白金六丁目の高層マンションの高さの見直し及び明治坂道路の開発に於いての要望などでした。傍聴者の共通した思いは、共産党の議員さんは、あらかじめ資料をよく勉強・把握してくださり、私たちの心からの願いを、真剣に発言してくれました。あまり発言されない議員さんも含め、港区全体の建設課題を港区の将来、何十年先を見きわめた真摯な気持ちで取り組んでいただきたいと思います。

